

平成17年12月5日

国立駅舎の保存活用の取り組み

平成17年12月2日から開催されている国立市議会第4回定例会に、国立駅舎の曳家設計委託料等の補正予算を提案しています。本市議会で補正予算が否決の場合は、曳き家での駅舎保存は難しくなり、残念ながらJR東日本からはスケジュールの関係で、工事の支障となるため撤去せざるを得なくなるといわれています。

9月議会では、国立駅舎を円形公園に曳家する予算は否決されましたが、国立市は、その後駅舎をおおむね今の位置へ戻すための協議を、10月と11月にJR東日本と行ってきました。この協議は継続して行う予定です。

また、上原市長はJR東日本を訪問し、駅舎を元の位置へ戻すことを要請してきました。JR東日本は、国立市と協力して、国立駅周辺の計画を検討する方向を示しています。

本議会における補正予算は、12月12日から14日の常任委員会並びに12月20日の最終本会議で審議される予定です。

平成17年第4回定例会：国立駅舎保存活用に関わる補正予算案の概要		
曳家等設計委託料	4,000千円	設計は平成18年度に掛かるため、繰越明許費として計上しました。
債務負担行為 (設計委託料) (工事請負費等)	60,000千円	曳家等工事(56,000千円)は、平成18年度に施工する予定であり、平成17年度との2カ年にわたるため、上記設計委託料を含め債務負担行為として補正予算案に計上しました。
注) 設計委託料と曳家工事の合計6千万円は、事業主体である東京都の合意を得て、中央線連続立体交差事業費から支出されます。		

駅舎保存について皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(ご意見、お問合せ先) 国立市建設部まちづくり推進課

[TEL] 042-576-2111[内線]382 [FAX] 042-576-0264

[E-mail] sec_machizukuri@city.kunitachi.tokyo.jp